

「安全・安心若手研究会」について

※2015年10月時点

[設立趣旨]

地域の安全・安心に興味関心を持っている若手が集まり、お互いに情報交換や学び合い、支え合いを行うための基盤となるネットワークを構築することを目的とした研究会です。学会の機会を中心に、若手同士気兼ねなく話し合える場を作り、学術的にお互いに研鑽を積んでいける場にしたいと考えております。

[対象者]

学部生、大学院生、若手研究者、企業関係者を広く募集しています。

下記の項目のうち、2つ以上に該当する方が対象です。

- 1) 40代までの（自称含む）若手の方（研究者・実務者問わず※）
- 2) 安全・安心の分野（犯罪・災害など）に足を踏み入れて10年未満の方
- 3) 教授・准教授を除く
- 4) 博士論文提出前、もしくは博士論文を提出して8年以内の方

[目的・目標]

- ① 査読論文の質の向上：地域安全学会では8月初旬に査読返却が予定されており、修正稿について議論・アドバイスをを行いあって論文の質を高める。
- ② 学会発表の練習：学会で行う発表（パワーポイント、ポスターや資料作成の評価も含む）の予行演習を行い、学会デビューに備える。
- ③ 研究相談：学会報告や査読にはまだ至らないが、現在もしくは今後行う研究について、色々な人と議論したり相談したりする機会を設ける。
- ④ 学術的知識の強化：多分野の方が集まる場で、お互いに自分の得意とする分野の基礎的な知識について共有しあう勉強会を行う。

[メンバー] ※2015年10月時点、第1回交流会参加者のみ掲載、50音順

岩泉大介（慶応義塾大学大学院・後期博士／防衛省）、佐藤翔輔（東北大学・助教）※、杉安和也（東北大学・助教）※、中尾公一（東北大学大学院・博士後期／宮城県庁）、中嶋唯貴（北海道大学・助教）、土方孝将（筑波大学大学院・博士前期）、藤生慎（金沢大学・助教）※、松川杏寧（同志社大学・特定任用助教）※ ほか数名

[年会費]

2,000円（ただし、学部生と大学院生は、年会費なし）